

Ver. 16

Free from Anxiety Program

症状の元にある炎症を鎮める方法に迫るFAP

今年の上級は症状の元の“炎症”がテーマ！

初級コースでは、主にPTSDや神経症圏の症例に対し劇的な効果を発揮することをご紹介させていただきました。

上級コースでは、いかなるクライアントも本当の意味で自由に生きられるようになることを目指し、脳器質や身体疾患、ホルモン、遺伝子などの個体の要因が及ぼす影響について研究を重ね、これまで何をやっても変化しないというクライアントに対して挑戦してまいりました。

新しい観点から解明するFAP Ver.16

近年話題になっているのは、精神疾患と炎症との関連です。最近、医学関連のニュースの中で『うつ病患者において炎症関連マーカーが上昇していることと合わせ、うつ病における炎症の役割が注目されており、免疫を標的とした新たな抗うつ薬の開発に期待がかかっている』という記事が紹介されました。

また、コロナ後遺症のメカニズムの一つとして、慢性炎症の役割が注目されていることについては、すでにご存知の方もいらっしゃるかと思います。

慢性炎症が持続することで、倦怠感や強い疲労感、がんや糖尿病などのさまざまな身体疾患はもとより、認知症やうつ病など、精神的な疾患の原因にもなることがわかっています。

例えば慢性炎症が原因となっている疾患の一つに甲状腺疾患がありますが、かつては、なかなか改善しない抑うつ症状や、対人関係の問題などの背景に、この甲状腺疾患が関係しているのではないかという仮説を立て、FAPのバージョンアップが行われた時期があり、その手法を用いたFAPをこの上級セミナーで紹介させていただいたことがありました。あれから20年近く経過し、さらに近年ではエピジェネティクスの研究も発展を遂げたこと

から、さらに興味深いことが見えてきております。FAPでは、クライアントのどのような訴えや疾患であっても、その人自身が楽に生きられるようになることを目指しています。近年の最新の研究成果を取り入れながら、クライアントも援助者も楽しいと感じられるセラピーが実現可能になる、そのようなストーリー展開を上級FAPの中でご紹介したいと思っています。炎症というのは医学用語ですが、私たちが心理的支援を行なっていく中で知っておくと役に立つ、という内容をわかりやすく説明します。心理支援やサイコセラピーに興味を持っていらっしゃる方であればどなたでも参加可能です。

セミナー方式：会場もしくはZoomのいずれか

※PCもしくはタブレットでご参加ください。スマートフォンは非推奨です。

※Zoomの事前登録をしていただきます。

※不正ログイン防止のため、Zoomの登録名は必ずチケット購入時と同じにしてください。(個人を特定できない場合は参加不可。)

※カメラONでご参加いただくことが条件となります。

FAP上級コース プログラム

11月16日(土) 15:00～19:00

- 講義(大嶋)「上級FAP Ver.16の実際」
※演習が入る可能性もあり

11月17日(日) 10:00～16:00

- 10:00 講義「炎症について」「炎症と精神疾患」を予定
- 11:45 昼休憩(～13:00)
- 13:00 心理的アセスメント、ナラティブとしてのFAP
- 14:00 休憩(～14:10)
- 14:10 演習 FAP Ver.16の実践
- 15:20 休憩(～15:30)
- 15:30 ディスカッション、総括

*プログラムは当日内容が変更になる場合もございます。

FAP講師

米沢 宏 Hiroshi Yonezawa 精神科医・医学博士

ジャパンEAPシステムズ取締役／顧問医

筑波大学、同大学院修了。医学博士。精神科専門医・指導医。

認定産業医。臨床心理士。精神科臨床に加え、産業精神保健、依存症問題、家族問題、思春期問題、PTSD問題、組織論、カウンセラー養成など幅広い領域で活躍している。

2021年、長年の母子保健への貢献により厚生労働大臣表彰を受賞。

2022年から産業ダイアログ研究所noteで情報発信を始めている。

泉 園子 Sonoko Izumi 公認心理師・臨床心理士

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。

株式会社IFF電話相談室室長、IFF相談室室長を経て、株式会社

インサイト・カウンセリング室長。2003年4月から2013年3月まで世田谷区烏山保健福祉センターにて、酒害相談、依存症相談を担当。

現在、株式会社インサイト・カウンセリングにてカウンセリング業務の他、カウンセラー養成講座の講師を担当している。

大嶋信頼 Nobuyori Oshima 心理カウンセラー

米国・私立アズベリー大学心理学部心理学科卒業。

アルコール依存症専門病院、周愛利田クリニックに勤務する傍ら

東京都精神医学総合研究所の研修生として、また嗜癮問題臨床研究所付属原宿相談室非常勤職員として依存症に対する対応を学ぶ。

嗜癮問題臨床研究所付属原宿相談室室長、株式会社アイエフエフ代表取締役を経て、現在、株式会社インサイト・カウンセリング代表

取締役。日々のカウンセリングの他、本の執筆多数。講演会やブログ「緊張しちゃう人たち」、会員制オンライン講座「無意識の旅」で自由に生きるための情報を発信している。